

# みんなの ひろば

## 自分の気持ちを正直に話そう

### 人権・同和教育学習講座が始まる

人権同和教育について考えようと、5月16日、人権・同和教育学習講座が、山村開発センターで開かれました。

第1回目の講座は、米子市



自分自身の体験をもとに話す野口さん

人権教育推進員の野口康雄さんを講師に迎え「人権・同和教育の解決に向けて」と題して話を聞きました。

野口さんは、自分自身の体験をもとに「一人ひとりが考え方を変えていくことが大切。正直に気持ちを話せる自分に変わっていきましょう」と話しました。

参加した35人は、真剣に話を聞き、あらゆる差別について認識を深め、明るい町づくりについて考えました。

この講座は、人権同和教育の推進を図ろうと、年間10回、それぞれテーマを決め、講師を招き学習します。

## 新緑の中で

### さわやかな汗流す

奥渡公民館ウォーキング

自然の中を歩き、楽しみながら体力づくりをしようとして、5月24日、奥渡公民館ウォーキング（遠藤雅人公民館長）が、同地区内で開かれました。

この日は、小学生から高齢者まで50人が参加。自分の体力にあわせ、4キロコースと5・6キロコースに分かれて歩きました。

参加者は「身近な自然を再発見した」などと言いながら新緑の景色を楽しみ、さわやかな汗を流しました。

歩いた後は、同公民館で懇親会が開かれ、世代を越えた交流を図りました。



身近な自然を楽しみながら歩く

## 地域の文化を体験

一番館手作り教室「平野流和紙ちぎり絵」



楽しみながら指先で和紙をちぎる参加者

り絵を作りました。参加者は、見本を参考にしながら、指先で色鮮やかな和紙をちぎり「輪郭を毛羽立たせるのが難しい」と和紙が持つ独特の持ち味がとてもすてき「などと言いながら、ていねいに色紙に貼りつけていました。

出来上がった作品を見て「この教室をとて楽しみにしていました。作品は大切に飾っておきます」とこれ

を機会に、ちぎり絵を続けていきたいです」などと話していました。

この教室は、地域で活動している人を広く紹介し、体験してもらおうと出雲街道根雨宿一番館が企画。今後毎月一、二回程度、講師を招いて開かれる予定になっています。

地域の文化を体験する根雨宿一番館手作り教室が、6月2日、根雨宿一番館で開かれました。

この日は、ちぎり絵教室が開かれ、町内外から19人が参加。講師に平野流和紙ちぎり絵の平野滋子さん（根雨）を招き、アジサイ、ツバキ、アサガオなどの花を題材にちぎ